

2020年3月12日13:00～

近年のAIブームと共に、ニューラルネットワークはその中核を担う知的情報処理技術として、今再び脚光を浴びています。本シンポジウムでは、これからの光ニューラルネットワーク計算技術を担う第一線の研究者の先生方に講演いただき、光ニューラルネットワークおよび「光AI」の未来像に迫ります。

招待講演

光ニューラルネットワークの時空間ダイナミクスと計算技術

大阪大学 鈴木秀幸

光ニューラルネットワークの数理モデルの構築と解析

大阪大学 中川正基

Cellular Automata: Reservoir Computing Acceleration

東京工業大学 劉 載勳

リザーバーコンピューティングの数理とデバイス実装

東京大学 田中 剛平

ブレインモルフィックコンピューティングハードウェア：

脳型物理デバイスからの構成的アプローチ

東北大学 堀尾喜彦

量子ドット分散材料におけるドット間エネルギー移動の

遠視野・近接場計測 - 光学禁制遷移の影響と協同現象 -

東京電機大学 川添 忠

複雑系フォトニクスに基づく光AI：

光リザーバコンピューティングの進展

埼玉大学 内田 淳史, 菅野 円隆

一般講演も募集します

光ニューラルネットワーク 計算技術の新潮流